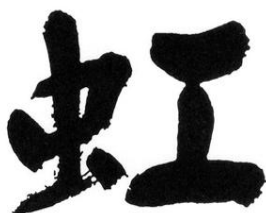




BMT 神奈川の HP はこちら



題字：慈雲老大師（円覚寺派前管長）

■編集・発行／神奈川骨髓移植を考える会（略称：BMT 神奈川）

〒254-0042 神奈川県平塚市明石町 24-25-309 黒部設計事務所内 発行責任者／村上忠雄
TEL:090-4713-7300 FAX:0463-25-1383 <https://www.bmtkanagawa.com/> E-mail:bmtkanagawa@gmail.com

当会のメールアドレスが変わりました

■日本骨髓バンク <https://www.jmdp.or.jp> ■全国骨髓バンク推進連絡協議会 <https://www.marow.or.jp>

第9回かながわボランティアフェスタに参加 テーマは「あつまれ！こどもたち こどもど真ん中」



このイベントは、基金 21 の助成を受けた様々な分野のボランティア団体が活動する分野の垣根を越えて、互いに協力しながらその活動を広く社会に発信する目的で開催されています。主催はかながわボランティア活動推進基金 21 情報交換会、2 月 21・22 日にかながわ県民センター 1 階展示場にて開催されました。当会からは「あさがおの種」の展示と、テーマにあわせてお雛様か鯉のぼりの手作りワークショップを通して「骨髓バンク」の PR 活動をしました。



ボランティアフェスタに参加して

今回のテーマが「こどもど真ん中」ということで命のアサガオ活動を紹介しました。私が新潟で取り組んできた活動を、神奈川に来てからもメンバーの協力を得ながら継続出来たことに感謝するとともに、参加したメンバーの熱意と素晴らしいチームワークに感動しました。命のアサガオは、小学校 1 年生で白血病の為に亡くなった丹後こうすけ君が育てたアサガオのタネをこうすけ君の生きた証として母親が学校や地域の方に配り命の大切さや優しさを伝えています。展示にあたり、丹後さん

から命のアサガオが載った教科書や書籍、こうすけ君の貴重な写真を送ってもらいました。また、わかりやすい展示のためにメンバーの可愛いイラストの提供や展示アイデアの協力も支えになりました。ボラフェス当日は、初めて参加した方も常連さんもいつもの登録会のよう到来場の声掛けから展示の説明やワークショップと多岐にわたって活動していました。この熱意はきっと来場された皆さんに届いたと思います。これからも身近な地域から命のアサガオの活動を通して骨髓バンクの普及活動に役立てることを継続して行くことを願っています。（山崎）

医療講演会・個別相談会



3 月 22 日、毎年恒例の神奈川県主催、再生つばさの会と神奈川骨髓移植を考える会の共催による「横浜医療講演会・個別相談会」が、神奈川県総合薬事保健センターで開催されました。この「横浜医療講演会・個別相談会」は、2004 年から毎年この時期に開催しています。血液疾患の患者さん、ご家族の皆さんの不安を少しでも取り除くためにも、スタッフ一同この活動を続けています。当日は、済生会横浜市南部病院の藤田浩之先生、横浜市立大学附属病院の萩原真紀先生に、ご講演と個別相談を対応いただきました。お二人の先生方には、講演の間もフルに個別相談の時間として対応して頂きました。お忙しい中、ご対応いただき、感謝申し上げます。

なお、神奈川県および神奈川骨髓移植を考える会のスタッフの皆さん、本当にお疲れ様でした。

（再生つばさの会 博田 慎吾）



骨髓ドナー説明員養成講座の開催

神奈川県では、骨髓ドナー登録者数の増加を目指し、骨髓ドナー登録会を開催しております。ドナー登録時には、登録希望者が正しく内容を理解し意思決定ができるよう、正確な情報を提供する「骨髓ドナー登録説明員」の役割が大変重要となっていることから、本県主催、神奈川県赤十字血液センター及び神奈川骨髓移植を考える会の共催、さらに日本骨髓バンクのご協力のもと、「骨髓ドナー登録説明員養成講座」を開催しています。

開催の本講座には6名の方にご参加いただき、骨髓移植やドナー登録に関する基礎知識の講義や、先輩説明員とペアで行うロールプレイング等で説明員の役割について学んでいただきました。本講座での経験を活かし、「できることを、できる時に、楽しく」ご活動いただければと存じます。

最後に、本講座の開催に向けてご尽力いただいた皆さまに、この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。引き続きご協力をお願いいたします。

(2月16日 かながわ労働プラザにて)

神奈川県 がん・疾病対策課 疾病対策グループ
野下涼太



第22回 GIBUN 手づくり市でグッズ販売とPR 横浜市技能文化会館にて 4/19



4月なのに夏日になろうかという爽やかなお天気にも恵まれ、開場前から準備に追われる出店者さん達の熱気に、会場はつつまれていました。開場と同時にこの手作り市を楽しみに来られた方々が、作品を手にとりじっくりと吟味していたり、作家さんとの会話を楽しむ笑顔がとても印象的でした。ステージには『誰でも弾ける』グランドピアノが設置され、早速スタッフの女性が数曲披露してくれました。演奏後には、会場が自然と感動の拍手に包まれました。BMT 神奈川のブースに来られた方達や他の出店者さんとのふれあいも楽しく、心を込めて作られたモノとヒト、澄んだピアノの音色に癒されたひとときでした。

(成田)



受講者の感想

入院中に輸血を受けてから、何か献血関連でお手伝い出来ることがないかと検索し、初めて骨髓ドナー登録説明員の存在を知りました。全く未知の中、養成講座を申し込んだものの、「足も悪く、仕事を持つ自分に出来るのだろうか」と不安を持っておりました。講座冒頭の村上会長の「できる時にできる範囲で楽しく」の言葉に後押しされつつも、ロールプレイングではなかなか上手く説明出来ませんでした。しかし、説明員の皆さんのご説明が分かりやすくも、お一人お一人異なることに気づき、「皆さん、ご自身の言葉で説明できるまで、消化されているのだな」と逆に非常に感動いたしました。まだ、至らない私ですが、登録希望者に安心してご理解いただける言葉で説明出来るよう、努力していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。(てん)



第52回相模原市民桜まつり

4月6日、相模原市役所さくら通りのまつり会場にて開催されました。今年のSDGs 出展エリアは条件が悪い上、雨予報も出ていましたが、参加スタッフの協力がありグッズの売り上げを伸ばすことができました。



「骨髓バンククイズ」は来場者の皆さまへゆったりとやり取りをして説明をすることができました。

小学生や中学生もアニメや映画の「はたらく細胞」で知識を得ていて、ドナー登録について真剣に聞いてくれました。クイズを通してわかりやすく伝えていくことの大切さを感じました。(小石川)



コットンキャップで応援しています

「抗がん剤治療などで脱毛に悩む方へ、少しでも前向きに進んでほしい。そんな思いを込めて、治療を乗り越えた私たちがあなたにエールを贈ります」というコンセプトを掲げて当会の数人が運営し、医療用ケア帽子コットンキャップを販売しています。

ワークショップで募集した作り手ボランティアが、ひとつずつ心を込めて手作りしています。神奈川県内の3カ所の病院売店とインターネットで販売しています。

価格はベーシック型が1,000円、リバーシブル型は1,800円です。



作り手ボランティアを募集しています

年に4回開催するワークショップでは、裁断や縫い方のノウハウをお伝えしています。参加費は生地代として



500円です。出来上がったキャップはお持ち帰り頂けます。受講後に作り手ボランティアとして活動を希望した方に、生地(水

通し済みで5枚ほどが1セット)と糸をお渡しし、商品としてのキャップの作成をお願いします。ご自宅でご都合の良い時間に作ったキャップが、今闘病中の方の手元に届きます。ワークショップの受講者およそ75名のうち30名ほどの方が作り手ボランティアとして登録し活動しています。

商品のパッキングは毎月スタッフで



作り手ボランティアが作った商品を集めて、毎月1回スタッフが品質チェックとサイズ分け、パッキング、ラベル貼りや在庫管理などを行っています。



日暮里生地問屋街へ生地の買い出し

シンプルな商品であるからこそ素材が大切。デリケートになったお肌に負担がかからないように、生地がコットン100%であることは必須です。売れ筋はスタンダードな色の無地が多いのですが、色柄ものをたくさん揃えています。選んでいただく楽しさが明日へのパワーにつながると信じて。

必要な方へ届けたい・・・

定期的に病院の売店へ納品に行くのですが、自分自身が入院治療していた病院を担当しているスタッフもいま



す。売店では洗い替え用に複数枚購入してくださる方、商品が納品されるのを待っていて下さる方、黒系統のSが3枚欲しいとオーダーもありました。売れ行きは順調で、必要としている方にご愛用いただいています。

販売している病院

- ・横浜市立大学附属市民総合医療センター 1F 売店
- ・横浜市立大学附属病院 1F 売店
- ・神奈川県立がんセンター売店

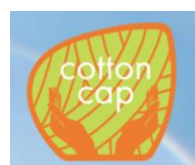
インターネットでも販売しています

たくさん色・柄・サイズをそろえていますが、ご希望のものが無い場合はできる限りお答えしていますので、お気軽にお問い合わせください。



コットンキャップのホームページについて

詳しい活動内容や、ワークショップの開催日の案内などがアップされていますので、ご覧ください。



大学でのドナー登録会の報告

現在骨髄ドナー登録者の年齢分布は 50 歳近くがピークで、55 歳での登録抹消になるため、このままでは登録者の減少が続きます。そこで、若年層への呼びかけが骨髄バンク全体の大きな課題になっています。

当会では、神奈川県内の大学でドナー登録会を 20 校



4/21 青山学院大学相模原キャンパス

強、年に 50 回以上行っています。登録者数も 1 回で平均 13 人位と、街頭などでの登録会の 2 倍となっています。学生さんに骨髄ドナーについて説明すると「はい」と元気よく答えてくれます。こちらが若返る気が

します。質問も多くされるので、それだけ真剣に考えてくれたのだなと嬉しく思います。登録が完了したときにこちらがお礼を言う前に、学生さんから先にお礼の言葉ももらう事も多く、恐縮しています。



4/21 湘南工科大学

大学ドナー登録会は開催時期が同時期となるため、1 日に複数校重なることがあり説明員が不足していますが、今後も協力して呼びかけを続けていきます。(岩崎)

麻布大学での良い話。

骨髄バンクドナー登録をしたいと、ブースに来てくれた学生。「若い子の登録が少ないと聞いたから、よくわからないけど来ました!」とのこと。ドナー要件の説明をすると、しっかりと理解して登録してくださいました。



4/24 横浜国立大学

雨の日でしたがあたたかい太陽の光を感じました。

(小石川)

ビル建物総合管理・施設警備
有限会社 白朝サービス社

神奈川県横須賀市汐入町 4-28

TEL : 046-825-7180 FAX : 046-825-7163

イオン・幸せの黄色いレシートに感謝

毎月 11 日に、イオン各店で発行される黄色いレシートを、応援したいボランティア団体のボックスへ投函すると、合計額の 1 %をイオンで販売されている商品と交換することができます。BMT 神奈川では会員がイオン古淵店へ伺い投函を呼び掛けています。

今回 58,700 円を頂くことができました。この寄付でドナー登録をした方へのお礼としてフリクションペンや付箋などをプレゼントしています。

◆バス登録会実施結果 (R6 年 12 月～R7 年 4 月)

開催数 86 回 登録 515 名/説明 750 名

◆献血ルーム登録数集計 (R6/12 月～R7/4 月 20 回) (登録数/説明数)

	かわさき ルフロン (5 回)	横浜スカイ (5 回)	横浜 Leaf (5 回)	海老名 (5 回)
合計	29/40	43/68	31/47	20/25

《ご寄付 & 募金のご報告》 みなさまありがとうございました

布川 伸子様	3,000 円
有限会社八重泉酒造様	10,000 円
田中 一道様	17,000 円
かながわボランティアフェスタ募金箱	1,631 円
相模原市民桜まつり募金箱	2,570 円
GIBUN 手づくり市募金箱	9,210 円

私たちの活動は善意のご寄付で支えられています。
ご協力をお願いいたします。

++ 寄付の振込先 ++

◎ゆうちょ銀行から

郵便振替口座：00230-8-55751

加入者：神奈川骨髄移植を考える会

◎銀行からゆうちょ銀行へ振り込む場合

支店：〇二九(ゼロニキュウ)支店

当座 0055751

口座名：神奈川骨髄移植を考える会

本紙に掲載されている個人名や金額につきましては
ご本人の承諾をいただいております。

【編集後記】

当会では、骨髄ドナー養成講座を年 2 回開催していますが、受講後に入会された方が活躍しています。新しいことに挑戦するのは勇気がいるだろうなあ・・・と、感心するやらありがたいやら。ボランティアに興味がある方、まずは、養成講座を受けてみませんか? (中島)